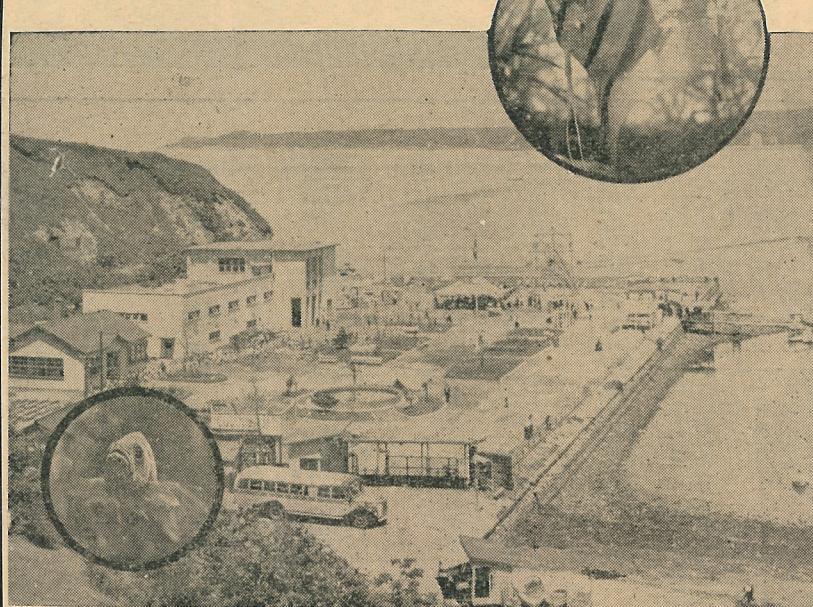


いよいよ25日開館

~~~~~ 壽 蘭 水 族 館 ~~~~



源となります。  
みなさんの健康をまもるために、つきのことがらについてご協力をお願ひいたします。

▽屋外の清潔

1家のまわりを清掃して、いらないものはかたづけきれいにしましよう。

2側溝の破損箇所を修理して汚水への流れをよくし、蚊やはえの発生源にならないようにしましょう。

△便 所

1便槽のまわりを掘り返して越冬ばえのさなぎをとり、焼去などして駆除して下さい。

春は環境の美化  
みんなできれ  
か

みんなでぎれいた

2 破損箇所の修理、汲取り口や落し口にはふたを用いて、はえの発生を防ぎます。

△流し尻  
上へは汚水のもれふ。  
べ、破損  
ねずみ

うに汚水桺はすき  
いふた

往無

△越冬ば  
しとう

卷之三

物置などの壁に

井川はいづつといふ越

して下さい。

市民みんなが右側歩行

## 全市的安全交通運動を展開

昨年一年間で審別町では百五十二事故があり、この車と歩行者との事故七十七件（約五十件）これらも左側を歩るために、後からまづ付かずひかれました。となっています。そこで「右側歩行運動」が叫ばれこの促進機関としてこの議会が発足したわけで、協議会は室蘭市、市教育委員会、室蘭商工会議所、室蘭警察署、室蘭交通安全協会が推進母体となり、市内各官公署、会社、学校、事業所、町内会、青婦団体な

ぼくもわたしも文化人

市右側歩行  
促進協議会

し、終始熱心な協議が行わ  
れましたが、つぎの右側通  
行推進要綱を定めそれぞれ  
の持場で自主的な活動を行  
うことになりました。

悲惨な交通事故をなくすため、みんな右側歩行を歩きましょう。

四月一日から「右側歩行運動」が展開されていますが、本市でも四月三日、「室蘭市右側歩行促進協議会」が発足、同日市内各階層の代表者による会議で「右側歩行の効果的促進」を熱心に協議。市民の協力により、全市的運動として強力に推進することになりました。

昨年一年間で室蘭市と幌別町では百五十二件の交通事故があり、このうち自動車と歩行者との事故は実際に十七件（約五十名）でございました。これらも左側を歩いていたために、後からきた車に気付かずひかれた事故が大半になつてゐます。

別町では百五十二件の交通事故があり、このうち自動車と歩行者との事故は実際に十七件（約五十名）でございました。これらも左側を歩いていたために、後からきた車に気付かずひかれた事故が大半になつてゐます。

と各階層に呼びかけ、歩道と車道の区別のない道路はもぢろんのこと①歩道②官公庁・学校・病院の廊下、③会社・事業所・デパートなど、人の通行するすべての場所で徹底した「右側通行」の実施を習慣づけ

秩序ある交通で事故防止をはかるうとするものです。三日の協議会では市総務課長の経過報告、室蘭市長（代理）室蘭警察署長のあいさつ、警察署長交通係長の「交通事故実態報告のあ

と、市建設部長を座長に推

○協議会では、立看板、横断幕、映画スクリーン、街頭放送、宣伝車、広報紙による広報、標語の各戸配布、報道機関に依頼。

○教育委員会及び学校では、小中学校における訓話、作文、图画の募集、交通自治班の指導。

○警察署では、小学生の模擬道路による指導、道路におけるカード使用指導、ボイイスカウトの協力による指導、交通安全指導員の協力による指導。

○協議会組織メンバーでは、係を選定して指導、内部周知を図る標示、通行者に対する広報看板の作成

○町内会では、この運動の趣旨の周知、協議会の推進日程

▽一日～五日＝協議会の相互連絡と広報週間

▽六日～十三日＝安全登校週間

▽十三日～十九日＝街頭指導週間

▽二十日～二十六日＝広報強化週間

本読副科社会四年三小学校△二十日検討と

(四) 国保保険料の清算制度  
調期間実施

○国保受診証がかわります  
国保被保険者証（旧受診証）は、四月で無効になります。  
また、どうしても早急に完納できない方は、いままで相談されるよう願います。  
保制度をご理解され、早急に納められるようご協力を願います。

交換し、お渡ししまなかつた  
まだ受取りにこられなかつた  
た方は、市役所保険課へ目  
受診証と印鑑を持つて、お  
いで下さるようお知らせし  
ます。

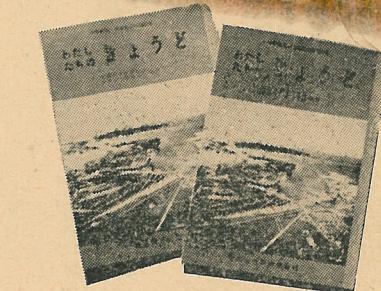
## 4月の納税

---

納期限は4月30日です  
『住みよい郷土も完納から』  
ご協力願います。

| 科<br>目       | 講<br>師                                                                                                                                                                             | 場<br>所             | 期<br>間                 | 講<br>座          | 内<br>容 |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------|-----------------|--------|
| 趣味の手芸        | 多田礼子                                                                                                                                                                               | 社会々説               | 四月二十日～五月二十五日<br>毎週月曜日  | しゅう、レースあみ、人形製作  |        |
| ペン習字         | 本間文雄                                                                                                                                                                               | "                  | 四月二十一日～五月二十六日<br>毎週火曜日 | 基本、階書、行書、仮名     |        |
| 商業簿記<br>(上級) | 山本 功                                                                                                                                                                               | "                  | 四月二十二日～五月二十七日<br>毎週水曜日 | 決算と実務(テキスト使用)   |        |
| 美術教室         | 須飼竜三                                                                                                                                                                               | "                  | 四月二十三日～五月二十八日<br>毎週木曜日 | 新しい絵の見方、デッサン、実習 |        |
| 文化講座         | 大井輝行                                                                                                                                                                               | "                  | 四月二十四日～五月二十九日<br>毎週金曜日 | 近代史(テキスト使用)     |        |
| 家庭料理         | 中田てる<br>室蘭                                                                                                                                                                         | 中田てる<br>室蘭<br>家政学院 | 四月二十五日～五月三十日<br>毎週土曜日  | 和、洋、中華料理        |        |
| 備考           | 1、申込は四月十三日より教育委員会社会教育課へ受講料百円を添えて申込んで下さい。(料理<br>2、家政学院でも受け付けています)<br>3、受講人は各科目とも四十名とし、定員に達したときは締切れます。<br>4、開講時間は毎日午後六時より九時迄です。材料、テキスト代は各自負担とし筆記用具を持参<br>さい。<br>出席良好な受講生には修了証を差上げます。 |                    |                        |                 |        |

## 小学校三・四年 社会科副読本 『たちのきょうど』



士の写真や国表等の資料をふんだんに使つて、小学校三・四年生の社会科副読本としてわかりやすく親しみやすく編集し、前編「わたしたちの室蘭」「後編「わたしたちの北海道」にまとめられており、郷土の姿と発展のあとを正しく理解できるようになつています。

# 豊かな国土 緑の山々

生き生きと郷土はのびる緑か  
緑の羽根に協力しましょう